

土砂災害・洪水 防災マップ 1

このマップは、かけ崩れや土石流などの土砂災害や洪水で河川が氾濫したときの危険な範囲を示すとともに、災害時に備えての注意すべき点や避難する場所をまとめたものです。

いざというときに落ち着いて行動できるよう、このマップをご活用ください。

<土砂災害警戒区域及び洪水浸水想定区域について>
詳細な区域図は、佐久建設事務所ホームページでご確認いただけます。下記の二次元コードよりご確認ください。



(洪水浸水想定区域)



(土砂災害警戒区域)

問い合わせ先：長野県佐久建設事務所 整備課 TEL 0267-82-8272 (平日 8:30~17:15)

◎災害は、ハザードマップの想定を超える規模になることがあります。自然災害から自らの身を守るためには、想定に捉われず、地域で協力して防災体制を作っていくことが大切です。

◎この地図は、平成 28 年度に撮影した御代田町の空中写真を複製し、背景図として利用しています。(承認番号平 28 開公第 8 号)

◆修正版(令和 5 年 3 月)◆
令和 2 年 3 月に発行した「御代田町土砂災害防災マップ」に以下の修正を加え、新たに「御代田町土砂災害・洪水防災マップ」として修正版を発行するものです。
【主な修正箇所】
●長野県による想定最大規模の洪水浸水想定区域の追加
●啓発記載文の追加・修正

発行：御代田町

〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口 1794 番地 6
TEL：0267-32-3111 FAX：0267-32-3929
E-mail miyota@town.miyota.nagano.jp

令和 5 年 3 月

町からの防災情報

防災行政無線

- 平時は熱中症警戒や行方不明者について等の情報発信を放送します。
- 災害時は避難情報や避難所の開設情報等のほかに、Jアラートによる緊急地震速報や気象警報等も放送します。

防災行政無線電話確認サービス

- 防災行政無線の放送内容を電話で聞くことができます。
- 回線数には限りがありますので、話し中の場合はかけ直してください。

【電話番号】 ボウサイ キョク
0120-131-994
0267-32-1180

御代田町公式 Twitter・Facebook

防災・防犯情報に加えて、行政情報やイベント情報もツイートします。

【アカウント】
@miyota1956



御代田町公式ホームページ

避難情報や通行止め情報等、全般な防災情報を災害時には随時更新します。

【防災情報ページ URL】
https://www.town.miyota.nagano.jp/category/bousai/index.html

みやたメール配信サービス

防災行政無線で放送した内容のほか、行政情報やイベント情報等を電子メールにより配信しています。

【利用登録について】
指定アドレス(miyota@pasmail.jp)に空メールを送信してください。



【注意事項】
・登録は無料ですが、パケット通信料は登録者の負担となります。
・ご不明な点については、下記ヘルプデスクまでお問い合わせください。

株式会社パスカル
オクレンジャーヘルプデスク
電話：0267-66-1383 (平日 9 時～17 時)

警戒レベルが導入されています

住民の皆さまが避難に関する情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を 5 段階の警戒レベルにより提供し、とるべき行動の対応を下表のとおり、明確化しました。

警戒レベル	住民の皆さまがとるべき行動	避難情報等
5	既に災害が発生している状況 ただちに 命を守る行動 をとる 直ちに立ち退き避難または 屋内安全確保	氾濫発生情報 大雨特別警報 等 緊急安全確保
4	全員避難 もしも逃げ遅れたら... 近くの丈夫な建物や家の 2 階など 安全な場所にたもてる	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等 避難・避難指示
3	高齢者等避難開始 お年寄りの方、体の不自由な方、小さい子供 がいらっしゃる方など、避難に時間のかかる 方と、その避難を支援する方は避難を開始 それ以外の方は、気象情報に注意し、避難の 準備を始める	氾濫警戒情報 大雨警報 等 高齢者等避難
2	避難に備え、ハザードマップ等により、自ら の避難行動を確認	洪水注意報 大雨注意報 等
1	災害への心構えを高める	早期注意情報

※ 各種の情報は、警戒レベル 1～5 の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

避難するときの注意点

災害が発生し屋内にいたることが危険な状態になった場合は、落ち着いて避難する必要があります。その際は、子どもや高齢者などの保護に配慮し、近所で声を掛け合うなど協力することが大切です。

避難に対する基本的な考え方

自分の身は自分で守る

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる
- 堤防の決壊で家屋消失・浸水の危険がある地域に住んでいる
- 子どもや高齢者など家族に要配慮者がいるなど

安全の確保

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい
- ひざまで浸水している、または浸水はひざ下程度だが、水の流れる速度が速いなど

とにかく早めの避難を心がけてください

【屋内安全確保】
屋外への移動は大変危険です。浸水による建物倒壊の危険がないと判断される建物の 2 階以上に一時避難してください。

避難に関する情報

自然災害の発生のおそれがあるときに発令し、避難等を呼びかけます。避難に関する言葉の意味をよく理解して、自らの身の安全を守りましょう。

1 高齢者等避難開始 (警戒レベル3)

今後、避難指示が発令される可能性が高いときに、避難準備を促すものです。
次に該当する方は、避難を開始してください。
●お年寄りの方、体の不自由な方、小さい子供がいらっしゃる方など、避難に時間のかかる方と、その避難を支援する方
なお、避難場所への避難が困難な場合は、近くの安全な場所に避難してください。それ以外の方は、気象情報に注意し、危険だと思ったら早めに避難をしてください。

2 避難指示 (警戒レベル4)

災害によって被害が予想される地域の住民に対して、避難を求めます。
速やかに避難を開始してください。外が危険な場合は、屋内の高いところへ避難してください。

3 緊急安全確保 (警戒レベル5)

住民に対し、避難指示よりも強く避難を求めます。災害が発生している、もしくは発生する恐れが非常に高いと判断されたときに発令するものです。
緊急に避難してください。外が危険な場合は、屋内の高いところに緊急に避難してください。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域とは

かけ崩れや土石流などが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を長野県が土砂災害(特別)警戒区域と指定しています。

御代田町は、指定されている箇所が多数あります。指定されている箇所にお住まいの方は、大雨のときに警戒避難が必要となることがありますので、注意してください。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

<土砂災害のおそれがある区域>
土砂災害が発生した場合に、『住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域』で、危険の周知、警戒避難体制の整備を目的としています。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

<土砂災害警戒区域のうち建築物に損害が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域>
土砂災害が発生した場合に、『建築物に損害が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域』で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の種類と主な前兆現象

がけ崩れ

がけ崩れは、斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは避難が遅れがちになる

- 前兆**
- ◇小石がバラバラと落ちてくる
 - ◇がけにひび割れができる
 - ◇がけから水が湧き出る
 - ◇湧き水が止まる・濁る
 - ◇地鳴りがする など
- 結果**
-

土石流

土石流は、山腹や川底の石等の土砂が長雨や集中豪雨により、谷筋を通過して一気に下流へと流される現象。時速 20～40km という速度で、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させる

- 前兆**
- ◇降雨が続くのに、川の水位が下がる
 - ◇急に川や沢の水が濁る
 - ◇山鳴りがする。木立の割ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる
 - ◇腐った土の匂いがする など
- 結果**
-
- ※土砂の流れの方向に対して直角に避難

洪水浸水想定区域とは

河川の洪水対策は、これまで河川の洪水防衛に関する基本となる降雨を前提としていたが、近年の風水害を受け、「堤防などの施設では防ぎきれない洪水は必ず発生する」との考えのもと、新たに想定し得る最大規模の降雨(千年に一度程度)により、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域のことをいいます。御代田町では、長野県管理河川となっている、線矢川、濁川、湯川に指定されている箇所があります。

水位 1.0m	歩：大人の腰くらいまで水が水につかり、歩行が困難になる。
5.0m 以上	歩：床上浸水が始まる。
3.0m～5.0m 未満	歩：車両が浮き始め、この段階に車内にとると、閉じ込められてしまう。
水位 0.5m	歩：大人の膝くらいまで水が水につかり、歩行に支障が出始める。
0.5m～3.0m 未満	歩：床上浸水が始まる。
0.5m 未満	歩：ブレーキ機能が低下し、エンジンが停止する可能性がある。

水位 10～20cm …… 子どもは動けなくなる!
水位 30cm 以上 …… 大人でも避難が困難!

洪水と主な前兆現象

洪水は、河川の水位や流量が異常に増えることで、河川敷内に水があふれたり、堤防を越えて水があふれる現象。大きな河川の堤防が決壊して洪水が生じると、大量の水が一気に市街地に流れ込み、住宅やインフラへの被害、逃げ遅れによる人的被害が生じる。

- 前兆**
- ◇河川の流れるスピードが速くなっている
 - ◇流木やゴミが多く流れてくる
 - ◇堤防やその周辺から水が湧き出している
 - ◇増水が早く、水が堤防を越えそうになっている
-

活用しましょう!

Yahoo! 防災速報アプリ

町では、災害時における情報発信の強化を図るため、ヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する協定」を令和元年 6 月 28 日付けで締結しました。アプリと連携し、自治体緊急情報(気象関係の注意喚起、ライフライン情報、避難情報)が配信されます。ぜひご利用ください。

停電情報アプリ

中部電力パワーグリッド株式会社では、登録した地域の停電情報をプッシュ通知でいち早くお知らせし、停電が発生している地域や停電の復旧情報・発生規模の情報などを確認できるアプリを運用しています。ぜひご利用ください。

「00000JAPAN」ファイブゼロ・ジャパン

「00000JAPAN」(ファイブゼロ・ジャパン)は、地震や台風、洪水などによる大規模災害が発生した際に、情報収集や安否確認の連絡などを行いやすくするため、無料で開放される公衆無線 LAN サービスのネットワーク名称のことで、2016 年 4 月に発生した熊本地震から運用がスタートしました。災害用統一 SSID「00000JAPAN」を選ぶと、スマートフォンやタブレット、パソコンなど無線 LAN に対応した端末であれば、契約している通信会社を問わず、誰でも無料で Wi-Fi スポットを利用できます。Wi-Fi スポットの設置場所は、ホームページで公表されます。

災害用伝言板

被災地への通信がつながりにくい状況になった場合に、家族の安否や避難先を知らせることができます。固定電話の他に公衆電話、携帯電話からも利用できます。このほか、各携帯電話会社の災害伝言サービスも活用してください。

災害用伝言ダイヤル 171



災害用伝言版(Web 171)



非常持出品チェックリスト

緊急時にあわてずに行動するために、家族と相談して必要なものを準備しておきましょう。
分担してすぐに持ち出せるようリュックなどにまとめておきましょう

※ 備えは家庭において千差万別です。それぞれの家庭で必要なものを話し合しましょう。
※ 食料品は古いものから定期的に食卓に上らせ、食べた分だけ買い足すローリングストックがおすすめです。

- 貴重品**
- 現金(公衆電話用に 10 円玉も用意)
 - 家や車の予備の鍵
 - 免許証やマイナンバーカードなどの身分証明書(コピー)
 - 健康保険証(コピー)
 - 通帳・印鑑
 - メガネ・コンタクトレンズ
 - 母子手帳 etc
-

- 飲料・食料**
- 飲料水(1人1日3ℓ)
 - 携帯食・非常食
 - 紙皿・割りばし等簡易食器
 - ラップ(食器代用・保存に)
 - 缶切り・万能ナイフ
 - 粉ミルク・離乳食 etc

- 情報収集**
- 携帯電話(充電器含む)
 - 携帯ラジオ(電池含む)
 - 筆記用具
 - 家族の写真(はぐれたときに)
 - 緊急時の連絡先 etc
-

- 衛生用品**
- 医薬品(常備薬・持病薬)
 - 着替え・スリッパ
 - タオル
 - トイレトペーパー
 - ウェットティッシュ
 - マスク
 - 洗口剤
 - 生理用品
 - さらし・手ぬぐい
 - 紙オムツ・おしりふき etc

- 便利用品**
- 懐中電灯
 - 防寒着・使い捨てカイロ
 - 雨具
 - LED ランタン
 - 卓上コンロ(ボンベ含む)
 - ライター・マッチ
 - ガムテープ
 - 軍手・ロープ
 - ビニール袋
 - 新聞紙・ダンボール
 - ビニールシート etc
-